

平成23年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修

(物理・化学コース) 参加報告

三重大学工学部工学研究科技術部

梅田直明

umeda@elec.mie-u.ac.jp

1. はじめに

平成23年8月31日～9月2日の日程で国立大学法人名古屋工業大学にて行われた平成23年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修（物理・化学コース）に参加したため報告を行う。

2. 研修内容

研修1日目は開講式、4つの講義、受講生プレゼンテーション、意見交換会という内容であった。受講生プレゼンテーションは日常業務をテーマにして1人1、2分程度のポスター概要説明があり、その後、2部構成（前半後半）のポスターセッションが行われた。

研修2日目にはA～Gまでの7コースの実習が用意されており、1コースの受講者数は1～3名であった。著者はあらかじめ事前に希望をしていたFコース「X線光電子分光法による深さ方向分析と帯電補正の試み」に参加した。実習はArイオンパッタによるSiO₂/Si材料のエッチングレート算出および装置の帯電中和機能を用いた帯電補償・補正という内容であった。

研修3日目は午前中に2日目の実習内容をプレゼンテーション資料としてパワーポイントでまとめて、午後に各コースによる実習報告、閉会式と続き3日間の研修を終えた。

今回の研修の感想は実習が各種装置による分析に特化していたため、15機関21名の受講生のほとんどが日常業務で何らかの分析に携わっているようであった。また、1日目の受講生プレゼンテーションや3日目の実習報告が研修内容に組み込まれており、従来の受講生が受け身の研修から脱却した内容と感じた。

3. 謝辞

2日目の実習講師および3日目の実習報告でサポートをしていただいた森口幸久氏ならびに綿密かつ重厚な研修を用意していただいた実行委員の皆様に深く感謝致します。

平成23年度 東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修(物理・化学コース) 日程表

日程：平成23年8月31日(水)～平成23年9月2日(金)

会場：名古屋工業大学 11号館2階1129講義室、大型設備基盤センター(22号館)

	第1日目 8月31日(水)	第2日目 9月1日(木)	第3日目 9月2日(金)
9:00	9:00 受付 9:30 開講式 閉会あいさつ 副学長・技術GD 増田 秀樹 写真撮影・オリエンテーション ※学内端末の利用法	9:00 実習 全7コース、1日を通して同じ コースの実習を行う。 昼食休憩は12:00～13:00	9:00 実習報告準備 2日目実習の プレゼンテーション資料の作成
10:00	10:00 講義1 「表面分析装置の紹介」 大型設備基盤センター 准教授 川口 健	Aコース 「有機化合物の構造解析」 22号館大型設備基盤センター 山本、谷山、瀬	
11:00	11:00 講義2 「機器・分析センターにおける 共同研究のススメ」 大型設備基盤センター 准教授 小野 克彦	Bコース 「オージェ分析装置による 半導体部品の解析」 22号館大型設備基盤センター 藤本	
12:00	昼食	Cコース 「極低温液体寒剤取扱い講習 および検出器冷却への応用と 放射線観測」 54号館低温室 52号館物理学実験室 南口、塚田、武井	昼食
13:00	13:00 講義3 「大学連携研究設備 ネットワークについて」 分子科学研究所 技術課 主任 関野 芳則	Dコース 「金属の定量分析」 22号館大型設備基盤センター 大西	13:00 実習報告
14:00	14:00 講義4 「国立大学法人機器 ・分析センター会議について」 技術グループ 技術企画チーム チームリーダー 玉岡 信司	Eコース 「EPMAによる鉱物の解析」 22号館大型設備基盤センター 山崎	
15:00	15:00 受講生プレゼンテーション ポスター概要説明 ポスターセッション 11号館2階202会議室	Fコース 「X線光電子分光法による深さ 方向分析と帯電補正の試み」 22号館大型設備基盤センター 森口	15:30 開講式
16:00		Gコース 「FIBを用いたTEM観察試料の 作製」 セラミックス基盤工学研究センター (岐阜県多治見市) 日比野	
17:00	17:30 意見交換会 校友会館「cafe sala」		
18:00			